

大学等名：八戸工業大学

テーマ：テーマⅡ（学修成果の可視化）

本事業では、まず大学教育実質化のため、高大接続をスムーズに行うとともに、キャリア教育と連動した初年次教育においてポートフォリオを導入し、学生の自己管理能力を育成する。次に、到達度を可視化する評価システムの導入により、継続的な学修の喜びを体感させ、学生の授業外学修時間の増加を図る。また、FD・SD活動と連携することにより、教職員個々人のスキルアップによる全学的な教育実質化を推進する。さらに、学生・社会の要望を反映した教育改善体制の構築と実践により、学部学科の改編を見据えた教育改革を波及させることにより、課題解決能力を有する学士力を備えた職業人を育成する。



【事業の成果】

学生の授業外学修時間	
25年度	0.5時間/週
28年度	10時間/週
30年度	20時間/週

- ・学びの姿勢を受け身から能動的な姿勢へと導く体制を整えることにより、学生の専門知識・技能の修得、コミュニケーション能力向上、課題解決能力の育成が強化される。
- ・学部学科改編、ナンバリング、CAP制、ラーニングポートフォリオなどの導入とともに、教職員と協働で学修の喜びを体感させる取組により、自分自身の状況を客観的に振り返り、計画的に自ら学ぶ習慣を持つ学生が増加する。
- ・ルーブリック評価などの導入による達成度評価法の改善により、教育の質保証システムが充実する。
- ・ティーチングポートフォリオ、アカデミックポートフォリオなどの導入やFD活動により教員の意識改革、教育改善が推進される。

↓

全学的に教育の実質化を図り、国際水準の学士力を有する職業人を育成する。